

事業所名	れいんぼーステップ
------	-----------

支援プログラム

令和6年 11月 18日

法人（事業所）理念	生きる上で困難を感じている子どもたちとご家族に寄り添い、どうすれば、より生活しやすくなるのかを一緒に考え、できる支援を行う。				
支援方針	子どもが困りごとをつぶやけて、ゆったりと安心できる場所（存在）になり、困っている状況を把握すると共に、手だてを一緒に考えて、少しでも解消できるように心のケアを目的としています。また、興味関心を広げて、自分の「良さ・好き・楽しい・得意」を見つけられるように支援し、専門職（公認心理師）による専門的支援も実施します。				
営業時間	10時	15分から	18時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし

支援内容

本人支援	健康・生活	入退室時の身支度・自分の荷物を管理する等、基本的な生活スキルの獲得ができるよう支援する。 様々な遊びや設定活動を取り組む中で、職員や本人が時間や空間など、生活しやすい環境を整える。（分かりやすく構造化する）		
	運動・感覚	粗大運動を活動に取り入れ、日常生活に必要な姿勢の保持やバランス感覚など、遊ぶ中で筋力の保持・強化を測る。 触感、匂いの嗅ぎ分けなど五感を使った活動を多く取り入れ、それぞれのお子様の感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境整備等支援を行う。		
	認知・行動	集団遊びの経験を積み、環境から必要な情報を習得し、そこから行動につなげる認知過程の発達を支援する。 制作や予定された活動を取り組む中で、数量・形の大きさ・重さ・色の違いなど習得の為の支援を行う。		
	言語 コミュニケーション	言語だけでなく、文字や絵カード、ジェスチャー等多様なコミュニケーション手段を活用し、意志の伝達ができるよう支援する。 伝言ゲーム、ジェスチャーゲームなどコミュニケーション能力向上に向けた集団遊びを取り入れる。		
	人間関係 社会性	個別の時間も確保しながら、ルールのある遊びや役割交代がある遊びを取り入れ、社会性の発達を促す。その中で、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に楽しく参加できるよう支援する。 出来る事と出来ない事、得意・苦手等自分の行動の特徴を理解するとともに気持ちのコントロールができるよう支援する。		
家族支援	希望する保護者との面談。フィードバック時の面談。座談会・勉強会等。	移行支援	保護者および学校から求められた際の情報共有。関係者との面談。	
地域支援・地域連携	児童発達支援センターとの情報共有。	職員の質の向上	外部研修・セミナーの内容共有。動画研修や資料の共有など。	
主な行事等	季節ごとの行事（節分、ひな祭り、七夕、夏祭り、お正月など）を取り入れた支援プログラムの策定。			